

アーバンスポーツ施設の整備に係る答申内容【検討資料】

1. これまでの審議について

	日時	場所	議題 【審議内容】
第1回	R5.1.31 10時00分	伊賀市役所本庁舎 5階501会議室	伊賀市から諮問を受ける 施設整備基本方針について
第2回	R5.7.18 14時00分	伊賀市役所本庁舎 2階202・203会議室	施設整備について 【実証実験について（場所・規模・内容 の検討）】
第3回	R6.7.26 10時00分	伊賀市役所本庁舎 5階501会議室	施設整備について 【アンケート結果から（整備方針の検 討）】
第4回	R7.2.5 10時00分	伊賀市役所本庁舎 5階501会議室	施設の検討について 【答申に向けて（内容の検討）】
第5回	R7.6.4 13時30分	伊賀市役所本庁舎 5階501会議室	答申について 【答申に向けて（構成・内容の検討）】

2. 施設の必要性について

- ▶委員の皆さまからは、身近でするところがないため、体験ができる機会をつくっていくべき。また、市民の居場所やコミュニティの役割をはたす施設であれば整備してもいいかと思う。などの意見があった。
- ▶実証実験での利用者の延べ人数は1,209人と少数であったが、スケートボードのみならずBMXや3×3の実施場所を望む声があり、ある程度競技者がいることが分かる。
- ▶特に、BMXのプロライダーや、3×3の「MIE SHINOBI GATHERS（ミエシルビギャザーズ）」というプロチームが伊賀市をホームに活動しており、プロを間近で感じられ、一緒にプレーできる環境があることは、今後の競技人口の増加に期待ができる。
- ▶一方で、実証実験の利用者アンケートでは94%の方が伊賀市にアーバンスポーツ施設の設置を望んでいるが、令和6年度の運動・スポーツに関する市民アンケートでは、65%の方がアーバンスポーツに関心がないと回答している。
- ▶実証実験場として、現在はアーバンスポーツパークとして提供している場所を無くすと、現在使用している方たちが楽しむ場所が無くなってしまい、以前のように実施してはいけないところを使用する可能性がある。
- ▶これらのこと踏まえ、市民が気軽に実施できる環境は必要と考えられるが、施設の整備にあたっては、アーバンスポーツに関心がない市民も含め、十分に市民の理解を得る必要があると考える。

3. 施設の規模について

- ▶委員の皆さまからは、大きな施設というより、小さくてもいいのでスケートボードやBMX、3×3など複数の種目が楽しめ、ワクワクする施設がいい。また、伊賀らしい特徴のある施設。などの意見があった。
- ▶実証実験では、駐車場の一部を使用していることもあり、「狭い」との回答が67%を占めていた。また、セクションの間隔が狭いとの意見もあった。
- ▶初心者から中級者くらいのを求める声や、セクションが無くても初心者が楽しめるフリースペースがあればいいという意見もあった。
- ▶現在の競技者のレベルに合わせ、セクションの配置を考えれば、現在の広さでも十分と考えられる。
- ▶しかしながら、スケートボードだけでなく、BMXや3×3など他のアーバンスポーツも視野に入れる必要がある。
- ▶スケートボードだけでなく、他のアーバンスポーツも実施できる環境が望ましい。

4. 施設の立地条件について

- ▶委員の皆さまからは、子どもが自転車で行けるところ。また、競技していることが車から見えるところ。温泉施設などが近くにある複合的な施設。などの意見があった。
- ▶実証実験場の利用者の大半は伊賀市内在住で、年齢構成は31歳以上が65%を占めており、施設への交通手段は車の利用が大半であった。
- ▶自宅からのアーバンスポーツ施設への理想的な移動時間は30分未満が80%を占めていた。
- ▶また、市外や県外からの利用も20%程度ではあるが確認できた。
- ▶市の人口に対する愛好者の割合は現時点では低いと推測できるが、競技を見ることで関心や愛好者の増加につながることを期待できることから、市民が容易に競技している姿を見受けられる場所が適しているのではないかと考える。
- ▶加えて、駐車場の整備も必須と考えられる。

5. 整備に係る留意事項について

- ▶雨天時の使用や熱中症対策として屋根付きの施設も検討する。
- ▶また、屋根付き施設の設置はハードルが高い場合に、屋根付きの休憩ベンチの設置を検討する。
- ▶仕事帰りに滑りたい愛好家が多いことから、照明設備の設置を検討する。

6. 答申内容（案）について

- ▶審議会として具体的な施設整備に関すること（施設の場所や規模など）をまとめるのは難しいため、整備にかかる方向性を答申内容してはと考える。

➤ 【答申内容（案）】

市全体で考えた場合に、一定の競技者はいるものの、アーバンスポーツに関心のある方は現時点では少ないことを踏まえ、市民の関心の高まりや愛好家が増加するまでは、アーバンスポーツ専用の新しい施設の整備は行わず、現在の「IGA URBAN SPORTS PARK」（イガ アーバンスポーツ パーク）【しらさぎ運動公園第2駐車場】を残しつつ、BMX や3×3 が楽しめる環境を整えた上で、体験教室などのソフト事業を展開し、競技人口の増加を図り、将来的には既存の公園やスポーツ施設の一部に競技が実施できる本格的な環境（施設）を整えていく方向性が望ましい。という内容で次回の審議会にて答申（案）を提案したいと考える。

【参考資料】

実証実験アーバンスポーツ施設整備に関するアンケート集計結果

利用者アンケート自由記述一覧（42件）

現状維持	<ul style="list-style-type: none"> ・狭くても路面がキレイ、このまま残して欲しい ・長く続けてほしい（4件） ・期間延長
改善	<ul style="list-style-type: none"> ・セクションの追加（3件） ・屋根、照明、時計の設置（5件） ・トイレ、自販機の設置（3件） ・セクション同士の間隔拡大 ・利用日拡大（月曜日4件）、利用時間延長（22時4件）
他種目施設整備 （要望）	<ul style="list-style-type: none"> ・パルクール（2件） ・3×3（バスケット2件） ・スケートボード（3件）
提案	<ul style="list-style-type: none"> ・廃校の体育館利用 ・屋根付き無料施設
課題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層運動不足の解決策のひとつ ・若者の居場所づくり

アーバンスポーツ実証実験利用人数集計表

	9時	11時	13時	15時	17時	18時	合計
R6.3	2	15	27	45	60	14	163
R6.4	2	20	23	53	32	7	137
R6.5	6	8	23	39	40	4	120
R6.6	6	16	19	14	27	10	92
R6.7	0	4	6	19	31	18	78
R6.8	6	8	15	25	35	7	96
R6.9	3	7	10	19	23	13	75
R6.10	1	8	15	17	27	9	77
R6.11	6	6	25	21	20	3	81
R6.12	2	7	16	18	10	2	55
R7.1	5	7	12	24	28	7	83
R7.2	2	8	15	17	26	2	70
R7.3	3	9	17	29	16	8	82
合計	44	123	223	340	375	104	1209
R7.4	0	13	18	16	17	2	66